

## 第5回インフラメンテナンス新技術・体制等導入推進委員会 議事概要

1. 日時:令和3年3月24日 10:00~12:00

2. 方法:オンライン会議

### 3. 議事概要

事務局より資料に基づき以下の議事について説明後、意見交換を行った。

- 1). モデル自治体 現場試行結果
- 2). 「インフラ維持管理における新技術導入の手引き(案)」について

#### 【委員からの主な意見】

- 自治体内で新技術導入を検討する場合、コストと業務量の削減が重要なポイントとなる。労働時間の上限が決められている中で、新技術を使っていかに業務量を削減し、かつ維持管理業務以外にも活用できるといった付加価値を生み出せるかが重要である。新技術は維持管理業務の中だけで使うと割高となる場合があるが、”維持管理以外の業務における活用と組み合わせることで、コストと業務量が削減できる”、という点に着目して検討することが重要である。
- 「手引き(案)」の新技術導入に関する公開情報の事例として、NETIS だけでなく建設技術審査証明も記載してほしい。
- 「手引き(案)」の事例集で、既に新技術導入の検討を始めた自治体の例が掲載されているが、それらから共通の課題を抽出し、その課題の内容と解決策を一覧にしてまとめると良い。
- 地場のコンサルタントが新技術を活用できるよう、自治体が環境づくりを進める必要がある点を「手引き(案)」に記載してほしい。
- 「手引き(案)」は、作るだけでなく実際に自治体職員に使ってもらうことが重要である。SNSを活用する、1枚の概要版を作成するなど、効果的に広報活動を進めてほしい。

以上